

な み き 通 信



令和7年度 桜並木学園つくば市立並木小学校だより 9号 R7.7.18

学びを広げる夏休みに ～ふだんできない経験を重ねて～

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
保護者や地域の皆様の温かな支えが、子どもたちの毎日の安心と充実した学びを支えてくださっていることに、心より感謝申し上げます。

いよいよ夏休みが始まります。夏休みは、夏の自然、日常とは異なる環境、家族や地域の人とのふれあいなど、子どもたちにとって夏休みは「ふだんできない経験」を重ねる絶好の機会です。夏休みのさまざまな体験の中で、子どもたちは知識だけでは得られない感動や気づきを得ることができます。一つひとつの直接体験が、子どもたちの心を豊かにし、自信と成長につながり、非認知能力をつけることにもなります。昨年度の学校だよりでも書きましたが、非認知能力とは、自己肯定感、やり抜く力、協働する力など、数値で測れない力のことを指します。こうした力は直接的な体験、つまり「実際にやってみること」や「感情をともなった経験」によって育まれるそうです。また、子どもたちは体験を通して、自分の得意や関心に気づくことができ、体験の試行錯誤の中で自分らしい学び方や考え方を身につけていきます。だからこそ、答えのない問いや初めての出会いに心を開き、柔軟に感じ、考える時間をこの夏、たくさんもってほしいと願っています。

また、家庭や地域の中で、自然や人とのふれあいを通して、たくさんの気づきや学びを積み重ねてほしいとも思っております。そして、9月のはじまりに、またひとまわり成長した姿に出会えることを、心から楽しみにしています。



6年生 命を吹き込むリボン・アートボール

6年生が取り組んだのは「リボン・アートボール」。この取組は、筑波大学の太田教授が提唱した「リボン・アートボール」の理念に基づいたスポーツとアート、リサイクルを融合させたもの、茨城県の事業です。これまでさまざまな場面で使われてきたボールを白い絵の具で丁寧にぬり直し、それをキャンバスとして生まれ変わらせる取り組みです。役目を終えたボールが、子どもたちの手によって再び命を吹き込まれるため、「リボン」なのです。

6年生は、思い出のつまったボールに自由な発想で絵を描き、色とりどりのすてきな作品を作りあげました。「この形、何に見える?」「こうしたら面白いかも!」と、友達とアイデアを出し合いながら、夢中になって制作に取り組む姿が印象的でした。この活動を通じて、子どもたちは廃棄されるはずだった物に新たな価値を見出し、創造的な思考を育むことや持続可能な社会への意識を高めるものとなりました。



7・8・9月の主な予定

7月

18日(金) 夏季休業前集会・大掃除・一斉下校13:00 19日(土)～ 休み始まり
20日(日) 衆議院議員選挙 並木小会場 21日(月・祝日) 海の日
22日(火) 夏季休業開始

8月

11日(月)～15日(金) 閉庁日 30日(土) PTA 美化活動

9月

1日(月) 始業式・授業開始 2日(火) 安全点検・せいけつ調べ・発達測定3～6年
3日(水) 発達測定1～2年 4日(木) 委員会活動 6日(土) PTA 運営委員会

